

# 福井県感染症発生動向調査速報

＜＜令和3年＞＞

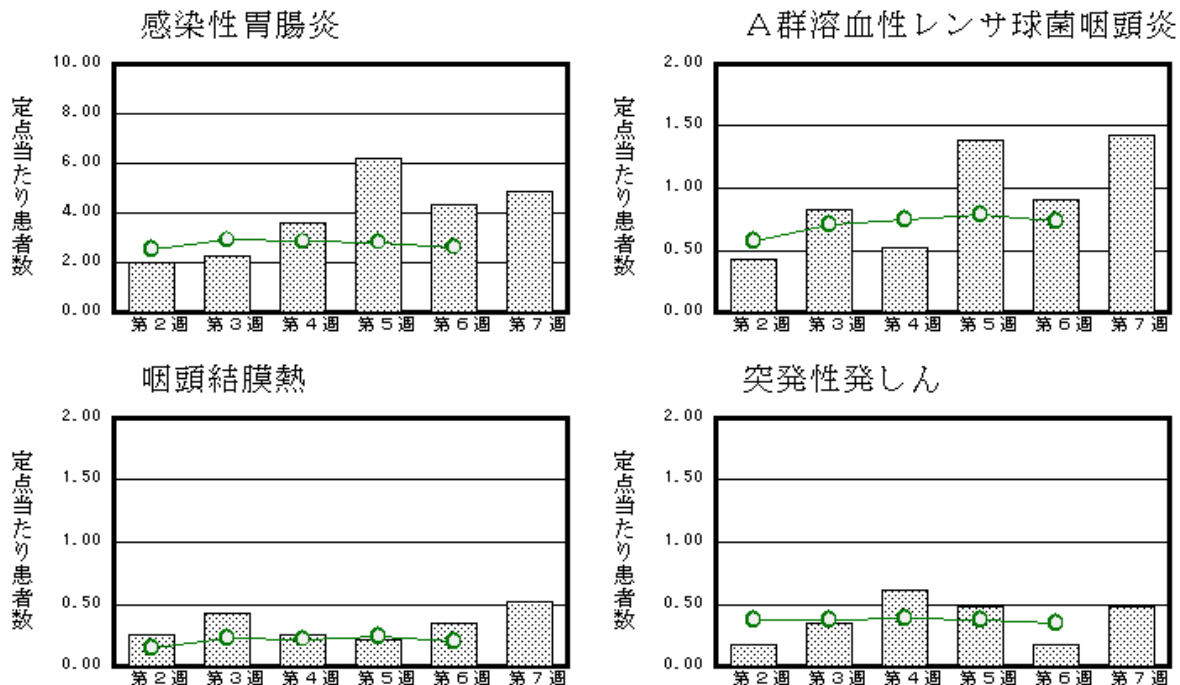
＜週報＞ 第7週（令和3年2月15日～2月21日）

発行日：令和3年2月25日

発行：福井県健康福祉部保健予防課  
福井県衛生環境研究センター  
kansen@erc.pref.fukui.jp

## ◆注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎112名(4.87名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎33名(1.43名) ③咽頭結膜熱12名(0.52名) ④突発性発しん11名(0.48名) ⑤流行性耳下腺炎2名(0.09名)  
( )内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(112名) ②A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(33名) ③咽頭結膜熱(12名) ④突発性発しん(11名) ⑤流行性耳下腺炎(2名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は112名です。定点当たり報告数は増加しました(4.35名→4.87名)。地域別にみると、坂井地区8.33名、福井市地区6.57名、丹南地区5.20名、二州地区3.33名、奥越地区1.50名、若狭地区1.00名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は33名です。定点当たり報告数は増加しました(0.91名→1.43名)。地域別にみると、坂井地区2.67名、福井市地区2.14名、若狭地区2.00名、丹南地区0.80名、奥越地区0.50名、二州地区0.33名の順となっています。
- 【咽頭結膜熱】報告数は12名です。定点当たり報告数は増加しました(0.35名→0.52名)。地域別にみると、奥越地区1.50名、若狭地区1.00名、坂井地区0.67名、福井市地区0.43名、丹南地区0.40名の順となっています。
- 【突発性発しん】報告数は11名です。定点当たり報告数は増加しました(0.17名→0.48名)。地域別にみると、福井市地区0.71名、奥越地区0.50名、若狭地区0.50名、丹南地区0.40名、坂井地区0.33名、二州地区0.33名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

## ◆感染症週報全国版の要点

2021年第5週号(2月1日～2月7日)

発生動向総覧	＜第5週＞インフルエンザの定点当たり報告数は増加した
注目すべき感染症	＜直近の新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの状況＞ 新型コロナウイルス感染症は、2021年2月12日15時現在、感染者数(死亡者数)は、世界で107,778,070例(2,368,501例)、194カ国・地域に広がった
感染症関連情報	◆病原体情報 病原微生物検出情報(IASR) ◆海外感染症情報 厚生労働省検疫所(FORTH) エボラウイルス病-ギニア/エボラウイルス病-コンゴ民主共和国 ◆その他 新型コロナウイルス感染症関連情報について/風疹に関する疫学情報(2021年2月10日現在)
速報	＜今週は該当記事はありません＞

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

一類感染症：報告はありませんでした。  
 二類感染症：報告はありませんでした。  
 三類感染症：報告はありませんでした。  
 四類感染症：報告はありませんでした。  
 五類感染症全数把握対象：クロイツフェルト・ヤコブ病（福井市1名）の報告がありました。  
 （なお、侵襲性肺炎球菌感染症は6週に福井市1名、梅毒は6週に福井市1名の報告がありました。）  
 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症（二州12名）の報告がありました。

類型	病名	年齢						
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上
五類	クロイツフェルト・ヤコブ病							1
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	3	2	2	2	1	2	

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和3年 第7週 令和3年2月15日(月)～令和3年2月21日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(6週)
インフルエンザ <sup>*</sup> (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)										56 0.01
小児科 (23)	RSウイルス感染症									1 0.04	852 0.27
	咽頭結膜熱	3 0.43		2 0.67	3 1.50	2 0.40		2 1.00	12 0.52	8 0.35	638 0.20
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 2.14		8 2.67	1 0.50	4 0.80	1 0.33	4 2.00	33 1.43	21 0.91	2304 0.73
	感染性胃腸炎	46 6.57		25 8.33	3 1.50	26 5.20	10 3.33	2 1.00	112 4.87	100 4.35	8311 2.63
	水痘			1 0.33					1 0.04	3 0.13	363 0.12
	手足口病										108 0.03
	伝染性紅斑									1 0.04	43 0.01
	突発性発しん	5 0.71		1 0.33	1 0.50	2 0.40	1 0.33	1 0.50	11 0.48	4 0.17	1117 0.35
	ヘルパンギーナ										79 0.03
流行性耳下腺炎	1 0.14					1 0.20		2 0.09	2 0.09	112 0.04	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎		*	*	*		*	*			4 0.01
	流行性角結膜炎										98 0.14
基幹 (6)	細菌性髄膜炎										5 0.01
	無菌性髄膜炎										9 0.02
	マイコプラズマ肺炎		*	*							9 0.02
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										
	インフルエンザ(入院患者数)										8 0.02

インフルエンザは、小児科定点+内科定点  
 細字は定点当たり患者数

\*欄には定点はありません

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和3年第7週

令和3年2月15日(月)～令和3年2月21日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルペ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月				1							～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月		2		7				6			～11ヶ月									
1歳		1歳		5	2	23				4			1歳									
2歳		2歳		4	5	20						1	2歳									
3歳		3歳			6	13							3歳									
4歳		4歳			7	13							4歳									
5歳		5歳			4	12				1		1	5歳									
6歳		6歳		1	3	5							6歳									
7歳		7歳			1	3							7歳									
8歳		8歳			1	4	1						8歳									
9歳		9歳			1								9歳									
10～14歳		10～14歳			1	7							10～14歳									
15～19歳		15～19歳				1							15～19歳									
20～29歳		20歳以上			2	3							20～29歳									
30～39歳													30～39歳									
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合 計		合 計		12	33	112	1			11		2	合 計									
前期計		前期計	1	8	21	100	3		1	4		2	前期計									
当期間/前期	***	当期間/前期		1.5	1.57	1.12	0.33	***		2.75	***	1	当期間/前期	***	***	***	***	***	***	***	***	***
増減数		増減数	-1	4	12	12	-2		-1	7			増減数									

\*\*\*は前期計が"0"のとき